

台湾留学

月例報告書 4月

留学先：台湾師範大学
留学形態：交換留学
期間：1セメスター

約2ヶ月以上が経過、時間の流れが早すぎて焦ります。4月は行った場所と台湾生活での気づきを気ままに書いていこうかと思います。

北投



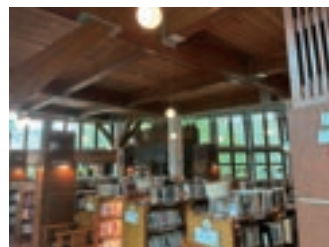
北投温泉博物館



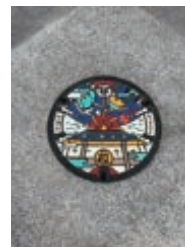
北投は台北駅から MRT で約 30 分で行ける温泉街です。新北投駅近くには北投温泉博物館があり、北投温泉の歴史を知ることができます。なんと温泉博物館の入場料は無料！昔の大衆浴場の雰囲気を感じながら、疲れたら館内の広い畳のスペースで一休みできるという素敵な施設です。1階部分はレンガ造り、2階は木造になっていて、外観は「和洋折衷」を基調として建てられたとのこと。近くには北投図書館があります。木造建築で、カフェのようなお洒落な雰囲気です。内装も木材が使われていて、とても落ち着く空間でした。天井から吊り下げられている照明もお洒落です。



北投図書館（外観）

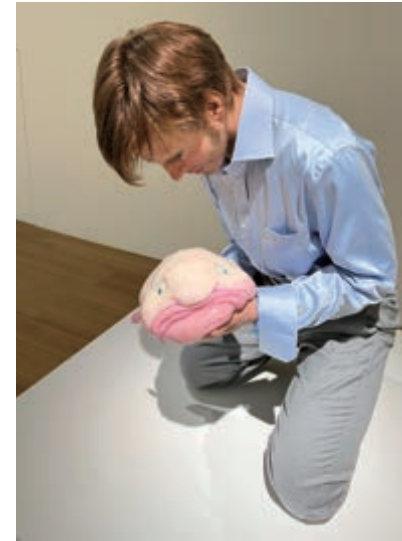


北投図書館（館内）



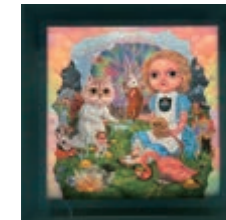
北投のマンホール

臺北市立美術館



市立美術館は台北駅と士林夜市のちょうど中間に位置します。思っていたより大きな美術館で驚きました。私が見に行ったときは全部で7つの展覧会があり、全部回るのに結構な時間を要しました。ですがどの展覧会もとても面白かったので楽しく見て回ることができました。

台湾の美術館の展覧会なのでもちろん解説文は中国語です。日本語の文章に比べて中国語の文章を読むのには時間がかかります。ちゃんと読もうとすると他の展覧会をみる時間が短くなってしまいうため、解説を飛ばすことでフィルターなしの自分の目で作品を見る機会が自然と増えました。



↑→左上から 未來身體：超自然雕塑伯：片刻冥想、生活決定意識：高重黎、跟你說個故事：很久很久以後、大衛、克拉耶



美術館外観

ローカル！朝市（福和観光市集）



寮の隣を流れる河を渡ると、とてもローカルな朝市があります。売っているものは果物、野菜、肉などの食品から服や電化製品（中古）、鳥、雑貨など本当にさまざま。日本ではなかなか見ない光景が広がっていて、なかなかカルチャーショックでした。

ここで売られている食品以外のものはほぼ中古のものです。おばあちゃん家の納屋に眠ってそう…というようなものがたくさん売られています。なんとなく闇市という言葉が彷彿とさせる場所で面白かったです。



お宝が見つかるかも？



← 閲覧注意

特にお肉屋さんのお肉の売り方は何度見ても衝撃です。蔵物がテントに吊り下げられていたり、お店のおばちゃんが蹄のついた豚の足の毛を抜いていたり、まだ毛の残った豚の頭の皮が吊り下げられていたり…すごく「命」を感じました。日本にいるとなかなか見ない光景なのでたくさん写真を撮っておきました。

深坑

深坑は臭豆腐で有名な地域です。深坑老街にはたくさんの臭豆腐のお店が並んでいました。これまで臭豆腐の強烈な匂いから試す気が起きなかったのですが、せっかく深坑に来たし…ということで臭豆腐初挑戦！食べる前に一応匂いを嗅いでみたのですが、あれ……？臭くない…？少し拍子抜けしました。一口食べてみると豆腐がとてもジューシー！しょっぱい系のタレと花生（ピーナッツ）の甘さが丁度いい塩梅で、おいしかったです。肝心の匂いですが、食べてもやはり匂いを感じず…

台湾の臭豆腐は基本的に揚げてあるのですが、こちらのお店は揚げた臭豆腐をタレにつけてさらに焼くというスタイル。揚げた上に炭で焼いているので匂いが抑えられていたのでしょうか。



←臭豆腐、香菜（パクチー）& 花生（ピーナッツ）を注文